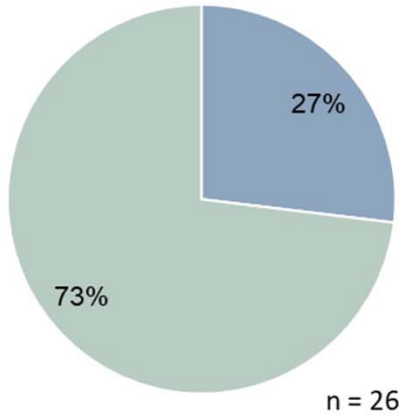


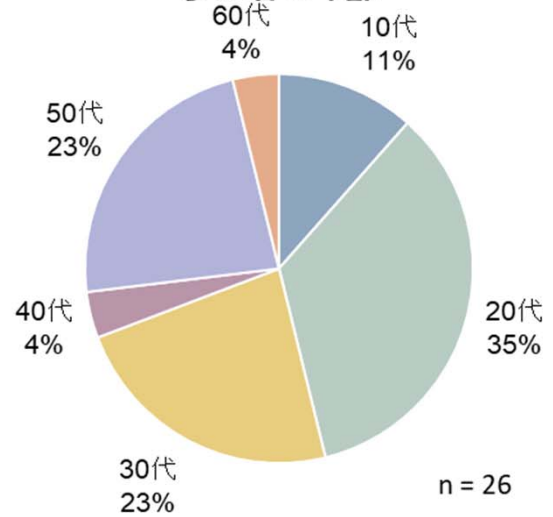
参加者の属性(一般)

■ アンケート有効回答数:26人

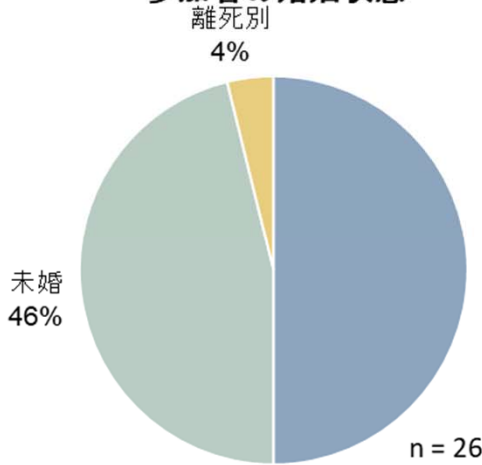
参加者の性別



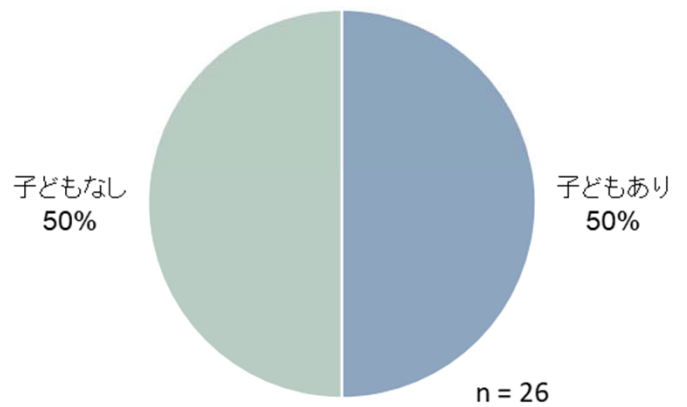
参加者の年齢



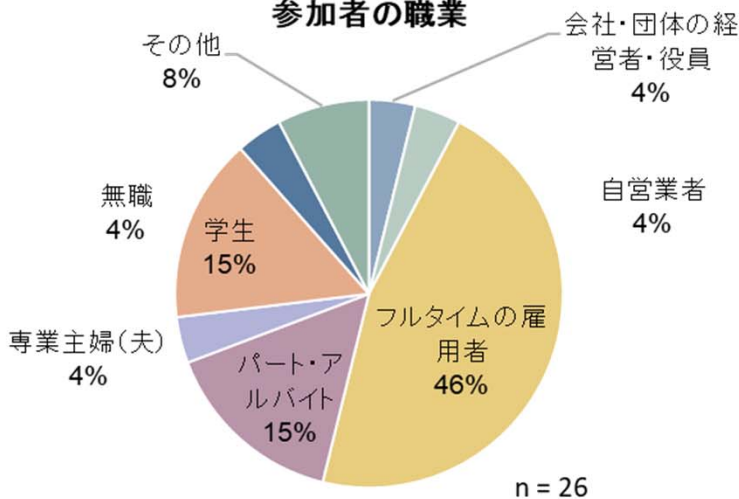
参加者の婚姻状態



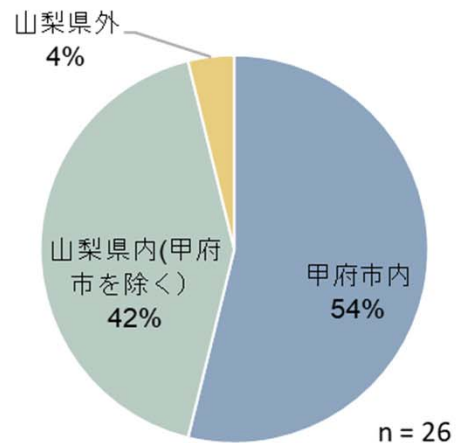
子どもの有無



参加者の職業



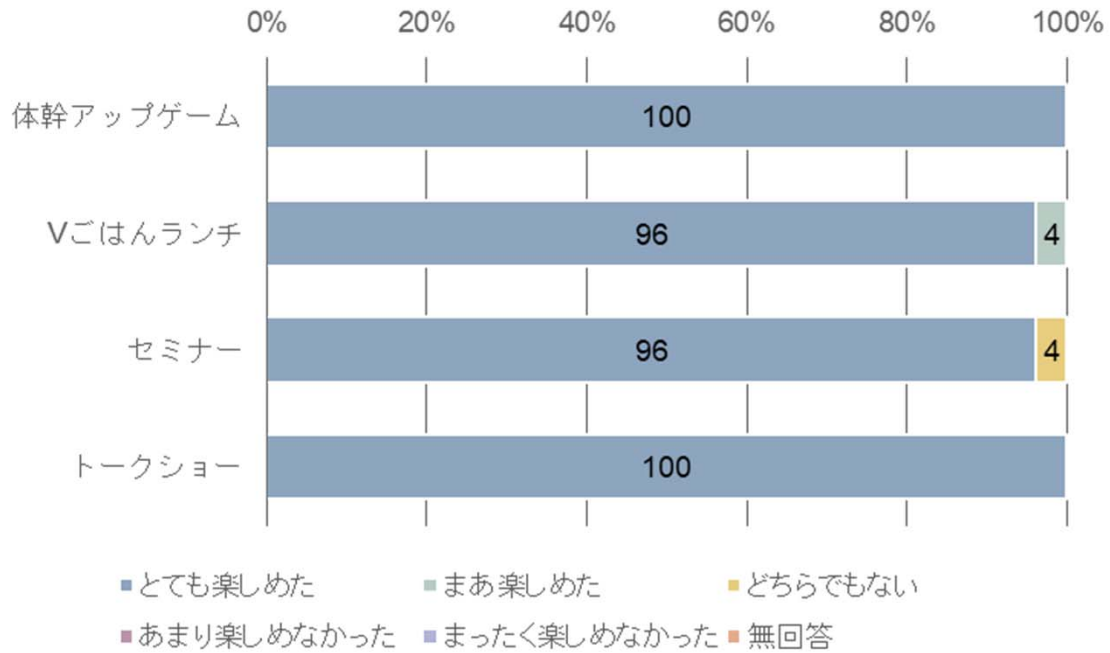
参加者の居住地



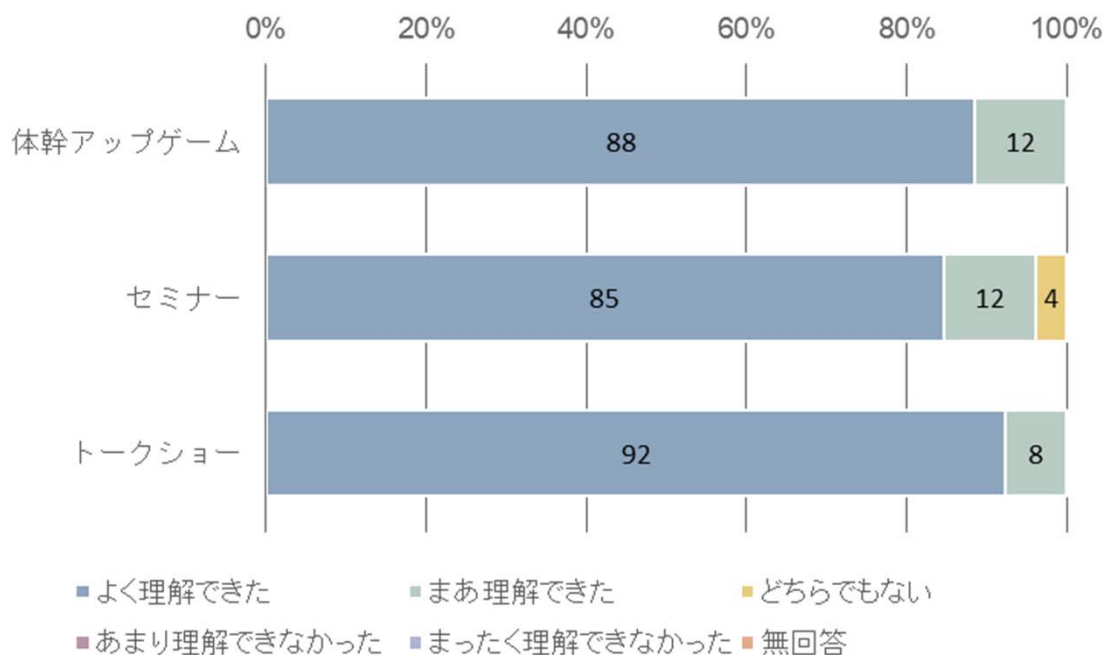
## イベントの満足度、理解度(一般)

■ アンケート有効回答数:26人

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(%)



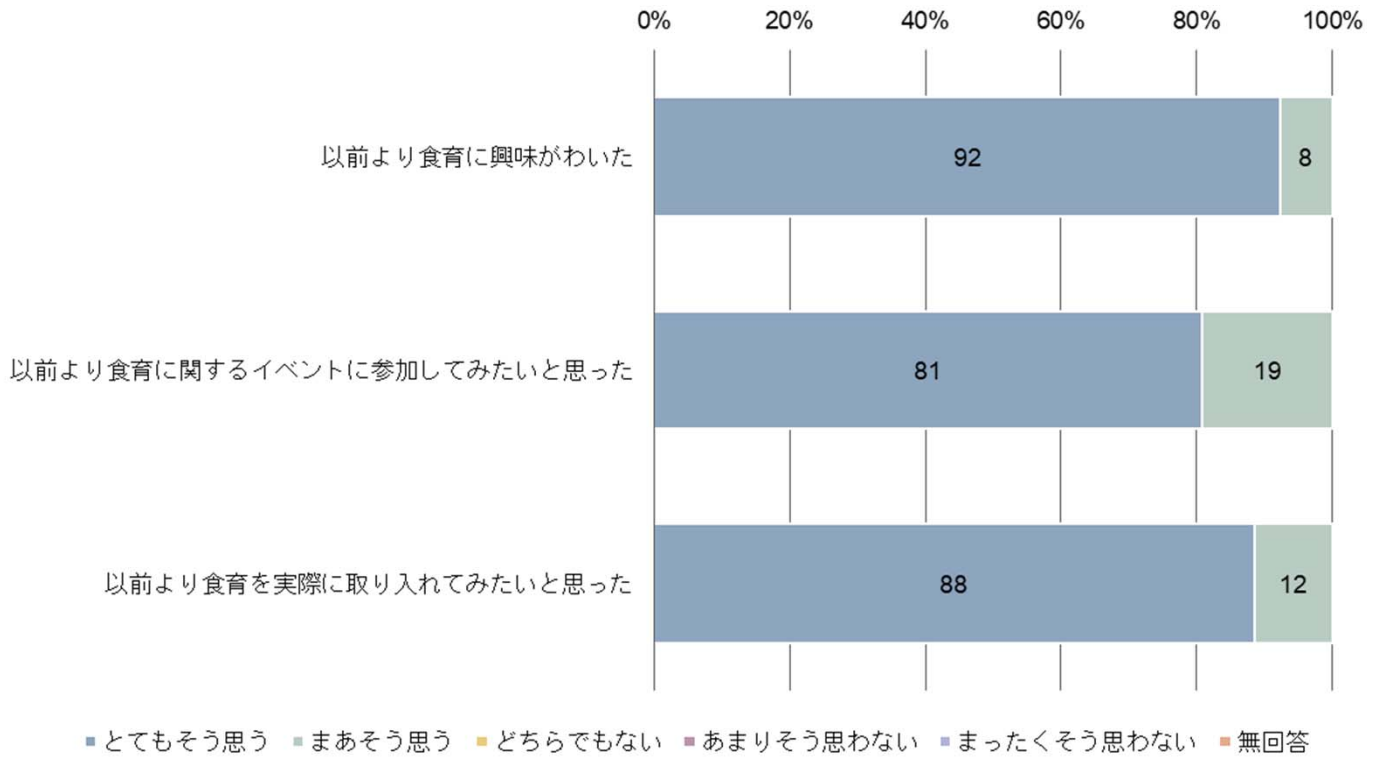
本日のイベントの各プログラムの内容は理解できましたか？(%)



## イベントの食育関心度向上への効果(一般)

■ アンケート有効回答数:26人

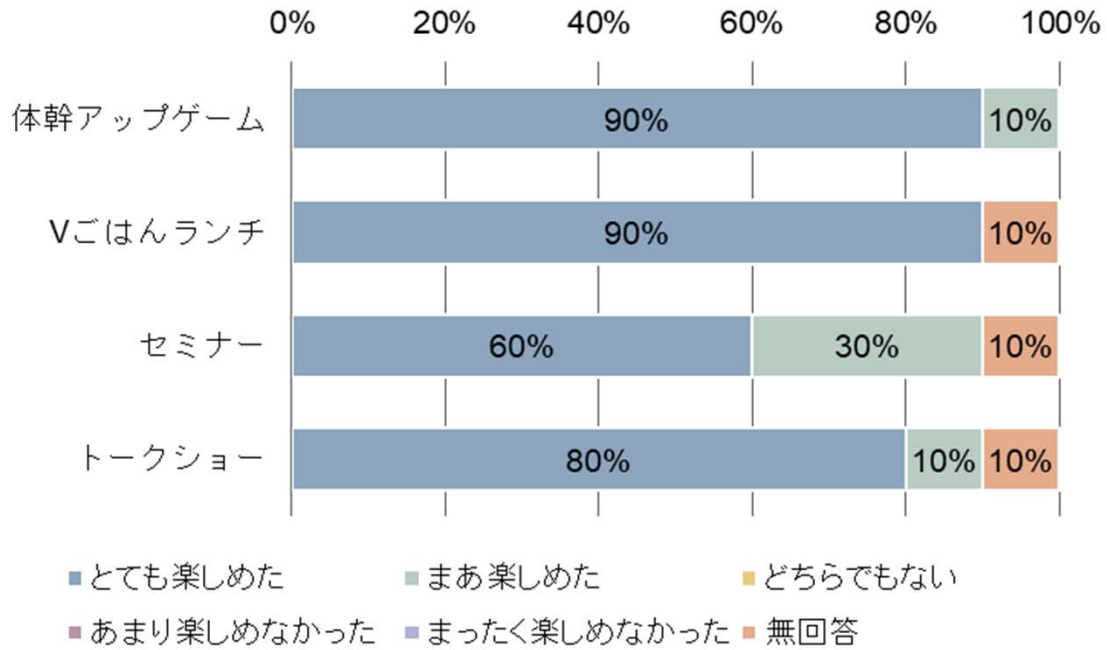
本日のイベントに参加して、栄養バランスのよい食事や、上記の「食育」に関するトピックへの意識に変化はありましたか？



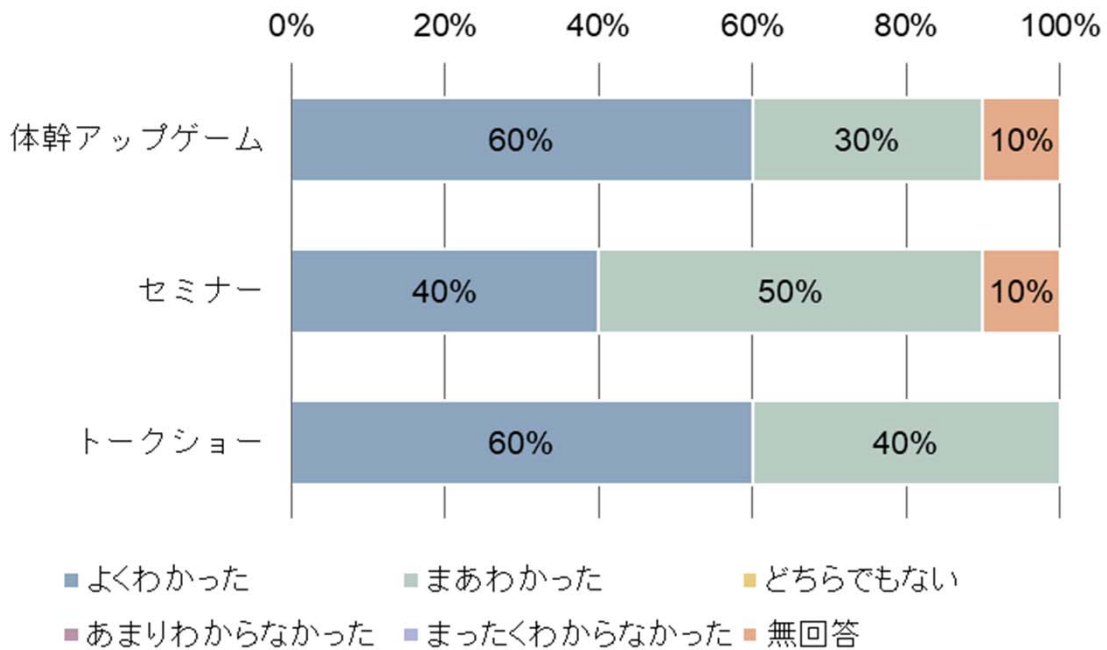
イベントの満足度、理解度(12歳未満)

■ アンケート有効回答数:10人

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(%)



本日のイベントの各プログラムの内容は理解できましたか？(%)



## 食育に関心が低い層のイベント参加動機

- 今回の大会イベントにおいて、参加前に食育に関心がなかった参加者は1名であった。
- 低関心層1名の属性: 男性/60代/既婚/子どもあり/無職/「食育」は内容を含めて知っていた

### イベント参加前の食育関心度

	合計	性別		
		男性	女性	無回答
とても関心があった	16	3	13	-
まあ関心があった	8	3	5	-
どちらでもない	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-

- 低関心層1名のイベント認知経路を見ると、ヴァンフォーレ甲府のホームページであった。また、イベント参加動機は、「ヴァンフォーレ甲府に関するイベントだから」、「体幹アップゲームを体幹できるから」、「ヴァンフォーレ甲府の選手の話を知ることができるから」となっており、イベント参加動機は食育ではなく、ヴァンフォーレ甲府が目的であったことが読み取れる。
- サンプル数が1名であるため結果の一般化には慎重でなければならないが、「「ターゲットの関心テーマ」×「食育」のミックス」、および「学校、企業、スポーツクラブ、NPO、著名人等とのコラボ」が低関心層のイベント参加を促すことに貢献したことがうかがえる。

### イベント認知経路

	合計	新聞・雑誌・TVなどメディア	V-action ~食で勝利をつかめ~ ホームページ	山梨県ホームページ	甲府市ホームページ	農林水産省のツイッター	ヴァンフォーレ甲府のホームページ	ヴァンフォーレ甲府のツイッター	両親・配偶者・その他家族から	知人・友人などから	その他	無回答
全体	26	-	1	1	1	-	9	1	2	12	-	-
とても関心があった	16	-	1	-	-	-	5	-	2	8	-	-
まあ関心があった	8	-	-	1	1	-	3	1	-	3	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

### イベント参加動機

	合計	ヴァンフォーレ甲府に関するイベントだから	体幹アップゲームを体験できるから	Vごはんランチを食べることができるから	食育について学べそうだから	栄養バランスのよい食事について学べそうだから	スポーツ(サッカー)と食について学べそうだから	ヴァンフォーレ甲府の選手の話を知ることができるから	専門家(管理栄養士)の話を知ることができるから	その他	無回答
全体	26	16	19	15	13	9	9	8	7	-	-
とても関心があった	16	8	13	11	8	6	7	3	5	-	-
まあ関心があった	8	7	4	3	4	3	2	4	2	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-

## 食育に関心が低い層のイベント満足度

- サンプル数が1名であるため結果の一般化には慎重でなければならないが、低関心層1名のイベントプログラムへの満足度は総じて高い評価となっており、ターゲットの関心に訴えることでプログラムの内容を工夫することによって食育目的ではない参加者も満足できるイベントの開催が可能であることが示唆される。
- ただし、プログラム中、最も食育に関連するセミナーの満足度は他のプログラムほど高くない。イベントに参加してもらったうえで、いかに低関心層の関心を高めるかには課題が残り、食育に最も関連するプログラムでも体験型を取り入れる等の工夫が必要である可能性がある。

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(体幹アップゲーム)

	合計	とても楽しめた	まあ楽しめた	どちらでもない	あまり楽しめなかった	まったく楽しめなかった	無回答
全体	26	26	-	-	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	8	-	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(Vごはんランチ)

	合計	とても楽しめた	まあ楽しめた	どちらでもない	あまり楽しめなかった	まったく楽しめなかった	無回答
全体	26	25	1	-	-	-	-
とても関心があった	16	15	1	-	-	-	-
まあ関心があった	8	8	-	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(セミナー)

	合計	とても楽しめた	まあ楽しめた	どちらでもない	あまり楽しめなかった	まったく楽しめなかった	無回答
全体	26	25	-	1	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	8	-	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	-	-	1	-	-	-

本日のイベントの各プログラムの内容は楽しめましたか？(トークショー)

	合計	とても楽しめた	まあ楽しめた	どちらでもない	あまり楽しめなかった	まったく楽しめなかった	無回答
全体	26	26	-	-	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	8	-	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

## 食育に関心が低い層のイベント理解度

- プログラム中、最も食育に関連するセミナーの理解度は他のプログラムほど高くない。イベントに参加してもらったうえで、いかに低関心層の理解度を高めるかには課題が残った。今回のアンケートからは理解度が相対的に低い要因は明らかでないが、当該低関心層の1名のイベント参加動機は、ヴァンフォーレ甲府のイベントであることによるものであり、他の目的での参加者のセミナーへの関心が十分に高くなかった可能性はある。イベントに参加してもらったうえで、体験型のプログラムを取り入れるなど、より食育に関連するプログラムへの関心度を高める工夫が必要である。

本日のイベントの各プログラムの内容は理解できましたか？(体幹アップゲーム)

	合計	よく理解できた	まあ理解できた	どちらでもない	あまり理解できなかった	まったく理解できなかった	無回答
全体	26	23	3	-	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	6	2	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

本日のイベントの各プログラムの内容は理解できましたか？(セミナー)

	合計	よく理解できた	まあ理解できた	どちらでもない	あまり理解できなかった	まったく理解できなかった	無回答
全体	26	22	3	1	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	6	2	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	-	-	1	-	-	-

本日のイベントの各プログラムの内容は理解できましたか？(トークショー)

	合計	よく理解できた	まあ理解できた	どちらでもない	あまり理解できなかった	まったく理解できなかった	無回答
全体	26	24	2	-	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	6	2	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

## イベント参加が食育に関心が低い層の食育関心度向上に与えた効果

- イベント参加によって低関心層1名の食育への関心度は総じて上がっている。したがって、本イベントは食育に関心が低い層に対する食育への関心度を高めるという所期の目的を達成したといえる。
- 前述のとおり、食育に関連するプログラムへの満足度と理解度は相対的に他のプログラムほど高くはなかったものの、食育を含むイベントに参加してもらうことによって食育に関心をもつきっかけづくりになったことがうかがえる。サンプル数が1名であるため結果の一般化には慎重でなければならないが、「**「ターゲットの関心テーマ」×「食育」のミックス**、および「**学校、企業、スポーツクラブ、NPO、著名人等とのコラボ**」が低関心層の関心喚起に寄与したことがうかがえる。

本日のイベントに参加して、栄養バランスのよい食事や、上記の「食育」に関するトピックへの意識に変化はありましたか？（以前より食育に興味があった）

	合計	とてもそう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
全体	26	24	2	-	-	-	-
とても関心があった	16	15	1	-	-	-	-
まあ関心があった	8	7	1	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

本日のイベントに参加して、栄養バランスのよい食事や、上記の「食育」に関するトピックへの意識に変化はありましたか？（以前より食育に関するイベントに参加してみたいと思った）

	合計	とてもそう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
全体	26	21	5	-	-	-	-
とても関心があった	16	14	2	-	-	-	-
まあ関心があった	8	6	2	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-

本日のイベントに参加して、栄養バランスのよい食事や、上記の「食育」に関するトピックへの意識に変化はありましたか？（以前より食育を実際に取り入れてみたいと思った）

	合計	とてもそう思う	まあそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
全体	26	23	3	-	-	-	-
とても関心があった	16	16	-	-	-	-	-
まあ関心があった	8	6	2	-	-	-	-
どちらでもない	-	-	-	-	-	-	-
あまり関心がなかった	-	-	-	-	-	-	-
まったく関心がなかった	1	1	-	-	-	-	-



## イベント後の参加者インタビュー概要

- 印象に残ったプログラムについて
  - 体幹トレーニングで特に風船を使ったプログラムが面白かった。自分がサッカーをしているので、体幹トレーニングは今後も続けたい(12歳未満)
  - いい体験ができたと思っており、イベントは楽しく参加した。食事が美味しかった(一般)。
  - 体幹トレーニングが面白かった。選手の食事について話が聞けて新鮮だった(一般)
  - 運動は苦手だが、体幹トレーニングは風船を使って簡単にできたので楽しかった。食事プログラムは栄養士が栄養について説明してくれてよかった。ヴァンフォーレの選手がもともと食事に興味はなかったが、情報を得て関心を持つようになったという話を聞けてよかった(一般)
  - 子どもは食事をしながら人の話聞くのは難しいと思う。家庭では普段から食事には気を配っていたが、トークショーの話を聞いてさらに一品足そうと思った。普段でも野菜を先に食べるベジ・ファーストを取り入れている。親としては鶏胸肉といった低脂肪高蛋白質の食材を食べさせたいが、概して子供はあぶらっこい食事のほうが好きで悩ましい(一般)
- イベントに参加して今まで以上に食事に関心を持つようになったか
  - 食事に配慮しようと思った。副菜を摂取してバランスよく食べたい。また、間食を減らしたり、食べ過ぎないようにしようと感じた(一般)
  - 旬の食材は栄養素が高まっていて美味しいと知ることができた。今後スーパーなどで食材を買うときの判断材料になる。選手が食に気を付けているポイントがわかり、食育を実践している人がいるということがわかった。栄養学の専門家が言っていることが大切だということもわかった。将来、結婚するなど食事つくる際は栄養に配慮した食事を作りたいと思った。(一般)
- 今回のヴァンフォーレ甲府とのコラボのようなイベントに今後も参加したいと思ったか
  - 機会があれば参加したい(一般)
  - 自分が健康の普及促進に関連する仕事に就いている。所属している事務所では食事の模型を使って食材のカロリーを教えたり、栄養の偏りをわかりやすく説明する。このような子供にわかりやすいプログラムがあればいいと思う(一般)
  - 今後も参加したい。これまではきっかけがなかった。ヴァンフォーレ甲府や音楽などからめたイベントで、その情報を知ることできれば参加する。もっと情報発信があるといいと思った。今日はランチがあったのでよかったが、食育に関する話だけだとわかりにくいだろう。サンプルでもいいから、これがいいとかを説明してくれると子供でも関心持つのではないか。紙と口頭の説明だけだと自分の体はどういいかイメージしづらい(一般)
  - SNSで情報発信してほしい。Twitterのほうが見る人は多いと思う。ヴァンフォーレ甲府のTwitterはいいのではないかと(一般)
- 2019年6月の食育全国大会参加したいと思ったか
  - 参加したい(一般)
  - 全国大会で何をやるか、今回のようなイベントで詳しく教えてほしい(一般)